

“原発なくせ”の思いひとつに 「さようなら原発栃木アクション」に2200人

ステージのあいさつに聞き入る参加者



原発のない社会の実現を訴える「さようなら原発」は、多くの人たちの生活の分断したと述べ、避難生活の窮状を涙をこらえて告発。「人が制御できない原発は作るべきではありません。第2の原発避難者をつくらないでほしい」と訴えました。



市内をパレードする参加者

同アクションは、脱原発の一点で、県内の市民団体、労働組合、政党など約40団体で進めてきました。日本共産党も構成団体の一つです。

栃木民主新報

日本共産党栃木県委員会
発行人 小林年治

〒321-0167 栃木県宇都宮市東浦町21-12
電話 028(658)4302
FAX 028(658)4374
発行日 毎月第3日曜日
1ヶ月100円

活をする大越たか子さん。福島県浪江町は「原発は、多くの人たちの生活を分断した」と述べ、避難生活の窮状を涙をこらえて告発。

国民の目・耳・口ふさぐ 秘密保護法案を廃案に!!



阻止を市民に訴える野村前県議(右)ら

日本共産党栃木県委員会と中部地区委員会、2日、秘密保護法案を廃案に追い込もうと、宇都宮市内で宣伝行動に取り組みました。宣伝では、赤旗日曜をアピールしました。



本秘書保護法案の廃案にむけ、会長声明を準備しています。



2014年4月

那須烏山市議選 平塚氏擁立

平塚氏擁立

平塚英教(ひでのり)氏

2014年4月30日任期満了となる那須烏山市議選(定数18)で、日本共産党は平塚英教(ひでのり)氏(58)を擁立し、現有1議席の確保に全力をあげます。平塚市議は、2期目。旧烏山町議と合わせ通算9期目に挑戦します。

平塚市議は、昨年3月市議会で、東日本大震災で長期運休した地元JR烏山線の改善策として、蓄電池式の車両を導入することを提案。議会内外の協力を得て、来春からの運行に道筋をつけるなど、住民の要求実現に力を尽くしています。

宇都宮市 住民投票求め署名活動開始 — LRTの是非は市民で決めよう —

9月 県議会

県議の海外視察再開 八ッ場ダム計画変更を追認

宇都宮市がすすめるLRT(次世代路面電車システム)導入の是非を問う住民投票条例制定をめざす署名運動が8日、スタートしました。条例制定に必要な署名数は、有権者の50分の1(8307人)以上です。12月8日までの31日間で集め、同月13日に提出の予定です。

宇都宮市がすすめるLRT(次世代路面電車システム)導入の是非を問う住民投票条例制定をめざす署名運動が8日、スタートしました。条例制定に必要な署名数は、有権者の50分の1(8307人)以上です。12月8日までの31日間で集め、同月13日に提出の予定です。

全日本年金者組合栃木県本部(松山正執行委員長)は10日、年金者一揆2013栃木県集会を宇都宮市で開き、消費税増税を断念し、年金削減を断念する安倍内閣とたたかうとする集会宣言を採択。

党後援会 各地で秋の行事 交流を深める

日光後援会 福島県南相馬市へ
日本共産党日光市後援会は10月19日、福島原発事故の被災地となった福島県南相馬市を約40人で訪ねました。

佐野市後援会 福島県川俣町、飯館村へ
佐野市の田沼、葛生地域の党後援会員は10月13日、福島県の川俣町、飯館村、南相馬市を回りました。車中では、立ち止まった場所の放射線量を計り、原発ゼロへの思いを語り合いました。

雀宮後援会 八ッ場ダムと草津白根
宇都宮市雀宮地域後援会は10月19日、群馬県の八ッ場ダム視察と草津白根バスツアーを実施しました。

安保破棄県実行委員会 藤本弁護士は、法案の必要性を示す「立法事実」として国が提出した全8事件の判決に「党創立91周年記念講演DVD」を視聴し、交流を深めました。



むしる旗を掲げ歩く組合員

県政世論調査2013年度

「暮らし良くなった」は過去3年で最低に

栃木県は今年度の「県政世論調査」の結果を10月に発表しました。調査は民間企業に委託、5月から6月にかけて県内全域の満20歳以上の県民1294人から回答を得たもの。

“今の年金では暮らせない” 年金者一揆2013県集会

全日本年金者組合栃木県本部(松山正執行委員長)は10日、年金者一揆2013栃木県集会を宇都宮市で開き、消費税増税を断念し、年金削減を断念する安倍内閣とたたかうとする集会宣言を採択。